

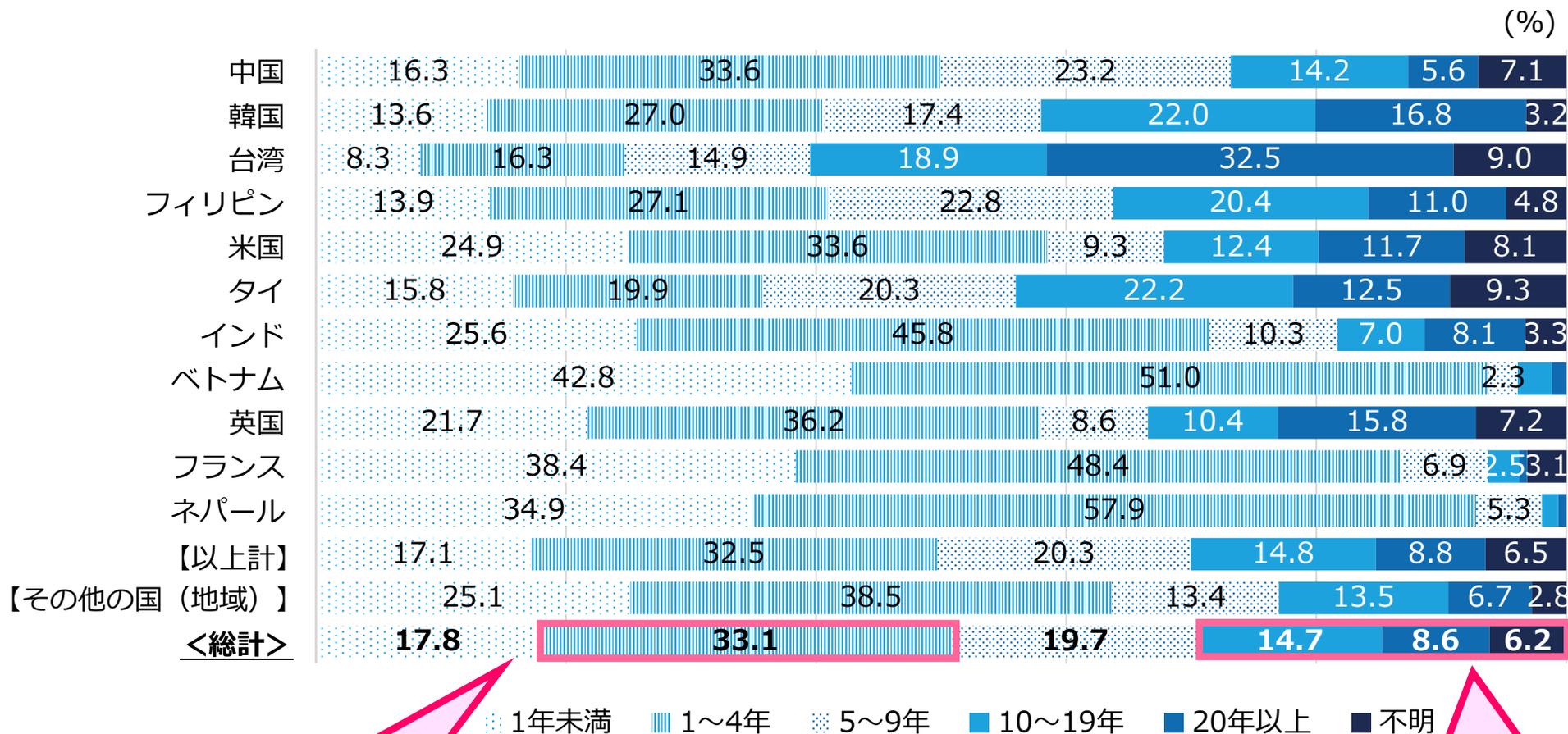
第3回専門小委員会における ヒアリング自治体からの追加提出資料

**神奈川県横浜市
追加提出資料**

横浜市中区に在住する外国人の横浜市内滞在年数 ※

※外国人の子どもに特化した定住率は算出していません

外国人人口の最も多い中区を例に市内滞在年数を見ると、**1~4年と10年以上の方が多い**



1~4年 33.1%

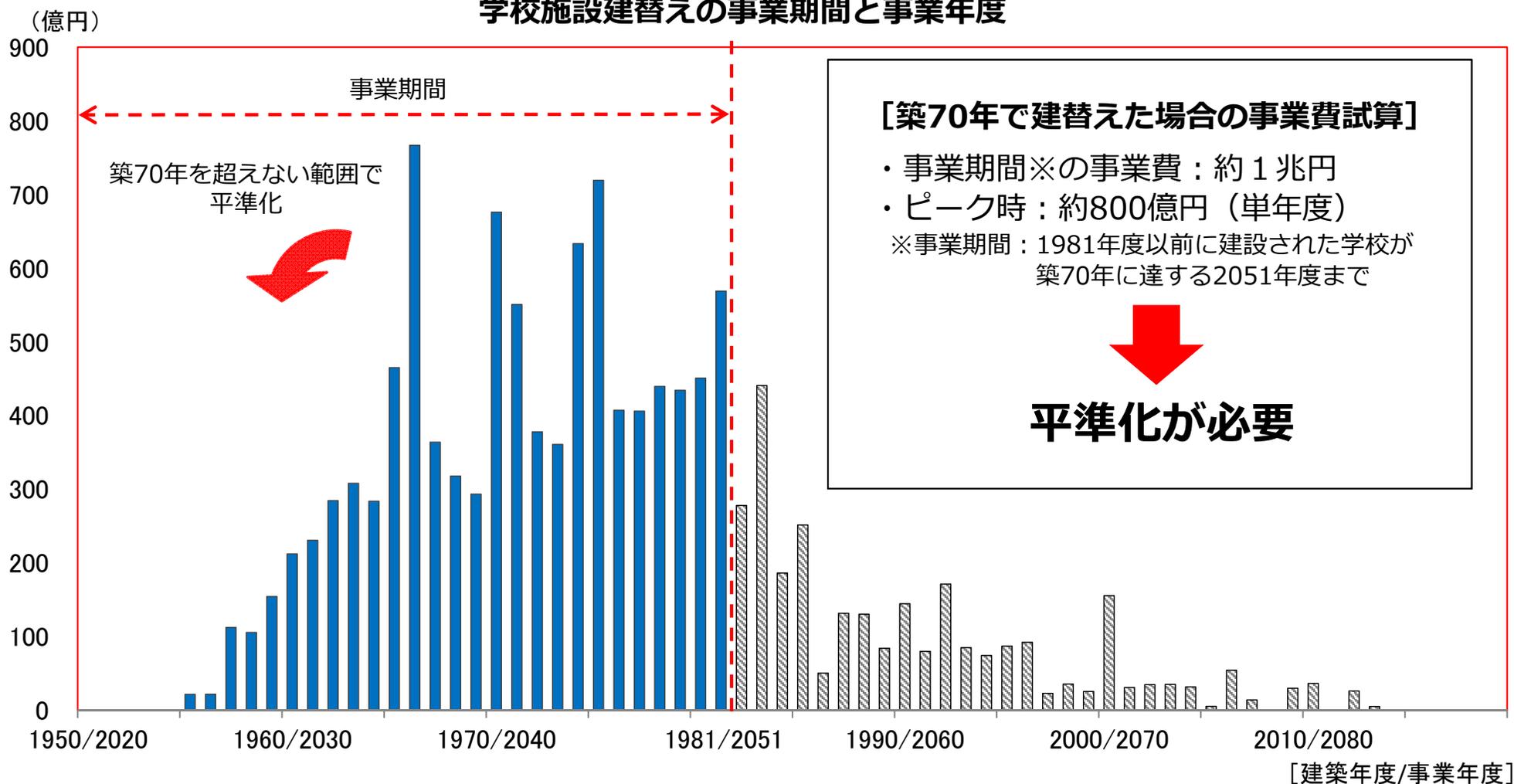
10年以上 29.5%

【出典】住民基本台帳の集計結果。平成28年4月時点 【注】特別永住者(*)は除く

*第二次世界大戦以前から日本に住み、1952年サンフランシスコ講和条約により日本国籍を離脱した後も日本に在留している台湾・朝鮮半島出身者とその子孫

- 事業費が膨大なため、目標耐用年数（70年）に満たない学校の一部を前倒して平準化し、優先順位を精査して（機能改善、学校統合等）効率的、効果的に建替えを実施
- 現在進行中の市の大規模事業が一段落する2020年度の工事着手を目標

学校施設建替えの事業期間と事業年度



岡山県真庭市 追加提出資料

平成 29 年度中の人口の動きについて

1. 真庭市の人口動態（平成 30 年 4 月 1 日現在）

	総数	増減数	自然動態	社会動態
全住民	46,092 人	△762	△488	△274
男	22,042 人	△324	△228	△96
女	24,050 人	△438	△260	△178

・自然動態は、出生者数 292 人、死亡者数 780 人で、△488 人減

・社会動態は、転入者 834 人、転出者 1,108 人で、△274 人減

・昨年（△615 人）と比較すると、自然動態△437 人→△488 人で△51 人減

社会動態△178 人→△274 人で△96 人減 計△147 人減

2. 主要指標（ ）・・・H32 目標値

①生産年齢人口 23,578 人 51.2% (49%) ②高齢人口 17,244 人 37.4% (39%)

③出産年齢女性人口 7,121 人 15.4% (15%) ④出生数 292 人 (360 人)

※年少人口～14 歳 5,270 人 11.4% (5,300 人 12.1%)

3. 真庭市の社会動態（累計）（年代別・性別・移動地域別）

《年代別転入・転出累計状況》

①男性：～14 歳 3 人、15～19 歳△24 人、20～24 歳△53 人、25～29 歳△17 人、30～34 歳△19 人、35～39 歳 8 人、40 歳～6 人 合計△96 人転出超過

②女性：～14 歳△1 人、15～19 歳△19 人、20～24 歳△98 人、25～29 歳△37 人、30～34 歳△14 人、35～39 歳△1 人、40 歳～△8 人 合計△178 人転出超過

《性別転入・転出累計状況》

①男性：転入者数 422 人、転出者数 518 人で、△96 人転出超過

②女性：転入者数 412 人、転出者数 590 人で、△178 人転出超過

《移動地域別転入・転出累計状況》

①転入者は、全国では中国地方からが 524 人（内訳は、男 267 人、女 257 人、うち県内は、409 人、男 216 人、女 193 人）で最も多く全体の 63%を占め、次いで近畿地方が 135 人となっている。県内の転入者は、岡山市が 154 人で最も多く、次いで津山市が 88 人となっている。

②転出先も中国地方が△704 人（うち県内△572 人）で最も多く全体の 64%を占め、次いで近畿地方の△163 人となっている。県内の転出先は、岡山市が△211 人で最も多く、次いで津山市△131 人、倉敷市△62 人となっている。

平成29年度中の
真庭市の人口の動きについて

真庭市 全体

*公社作成住基データ(速報値)から作成しており、年報の数値(確定値)とは異なる。
*外国人を含む人口の数値。

1 真庭市の人口(年度別)

年度	総数 (4/1現在)	年度内 増減数
H17年度	54,425	▲ 688
H18年度	53,737	▲ 666
H19年度	53,071	▲ 535
H20年度	52,536	▲ 612
H21年度	51,924	▲ 599
H22年度	51,325	▲ 559
H23年度	50,766	▲ 642
H24年度	50,124	▲ 629
H25年度	49,495	▲ 600
H26年度	48,895	▲ 691
H27年度	48,204	▲ 735
H28年度	47,469	▲ 615
H29年度	46,854	▲ 762
H30年度	46,092	

2 真庭市の動態(年度別)

年度	自然動態			社会動態			その他の 移動	増減数
	出生者数	死亡者数	増減数	転入	転出	増減数		
H17年度	399	726	▲ 327	1,149	1,500	▲ 351	▲ 10	▲ 688
H18年度	362	699	▲ 337	1,159	1,485	▲ 326	▲ 3	▲ 666
H19年度	368	697	▲ 329	1,160	1,350	▲ 190	▲ 16	▲ 535
H20年度	375	726	▲ 351	1,031	1,284	▲ 253	▲ 8	▲ 612
H21年度	340	702	▲ 362	1,082	1,324	▲ 242	5	▲ 599
H22年度	347	788	▲ 441	1,014	1,136	▲ 122	4	▲ 559
H23年度	307	794	▲ 487	1,002	1,151	▲ 149	▲ 6	▲ 642
H24年度	334	755	▲ 421	966	1,169	▲ 203	▲ 5	▲ 629
H25年度	318	742	▲ 424	967	1,140	▲ 173	▲ 3	▲ 600
H26年度	331	813	▲ 482	934	1,143	▲ 209	0	▲ 691
H27年度	320	741	▲ 421	854	1,166	▲ 312	▲ 2	▲ 735
H28年度	302	739	▲ 437	874	1,052	▲ 178	0	▲ 615
H29年度	292	780	▲ 488	834	1,108	▲ 274	0	▲ 762
計	4,395	9,702	▲ 5,307	13,026	16,008	▲ 2,982	▲ 44	▲ 8,333

3 平成29年度中の動態(男女別)

動態区分	男	女	計
自然動態	▲ 228	▲ 260	▲ 488
社会動態	▲ 96	▲ 178	▲ 274
計	▲ 324	▲ 438	▲ 762
その他の移動			0
年度内増減			▲ 762

4 人口フレーム

項目	人数	割合
年少人口(0歳～14歳)	5,270	11.4%
生産年齢人口(15歳～64歳)	23,578	51.2%
高齢人口(65歳～)	17,244	37.4%
出産年齢女性人口(15歳～49歳)	7,121	15.4%

「その他の移動」とは、実態調査により住所地に居住していないことが判明した場合に住民票を職権で削除したり、住民票が職権で削除されている方で新たな居住地で住民票を設定した場合の数値。

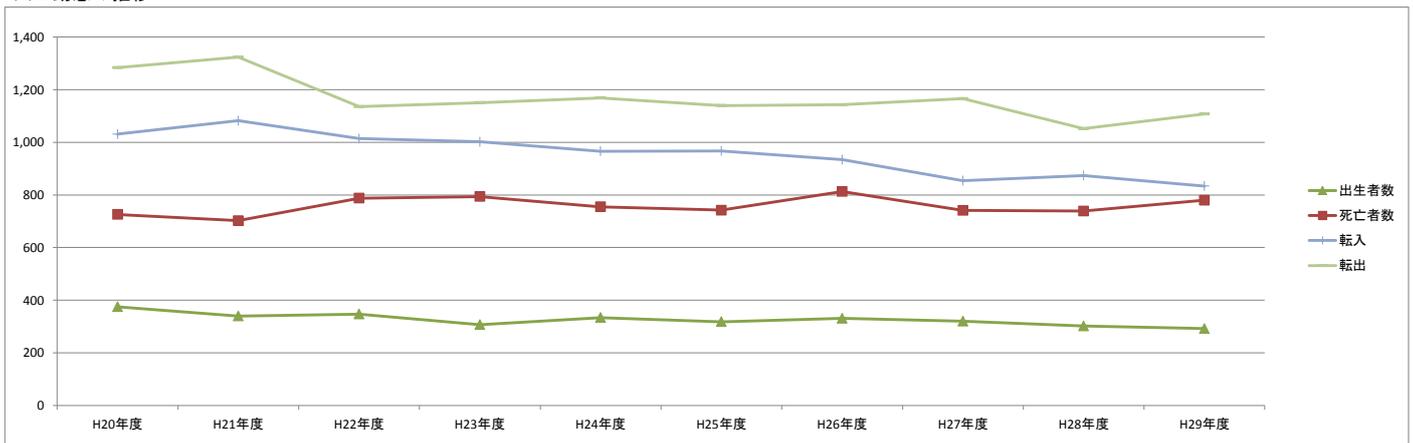
5. 真庭市の社会動態(年代・移動地域別)

※転入・転出口数の多い15歳から39歳までの区分を抽出している。

地域	男																女																計		
	14歳以下		15歳～19歳		20歳～24歳		25歳～29歳		30歳～34歳		35歳～39歳		40歳以上		14歳以下		15歳～19歳		20歳～24歳		25歳～29歳		30歳～34歳		35歳～39歳		40歳以上		計						
	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	男	女	計				
北海道			1	0	1	1	1	0	1	0	0	0		1	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0			4	3	7	1	2	3			
東北	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	6	3	9			
関東	4	3	0	3	9	11	0	8	3	7	2	4	11	6	3	2	7	4	4	26	5	7	3	3	1	4	5	7	29	28	57	42	53	95	
中部	1	2	1	4	3	6	3	2	1	2	0	2	1	2	0	5	2	2	3	0	3	0	3	0	1	4	3	11	7	18	17	17	34		
近畿	7	1	4	8	13	33	7	7	3	2	8	6	27	25	6	2	2	5	11	34	9	6	8	7	4	3	26	24	69	66	135	82	81	163	
中国	27	32	17	32	45	70	47	54	29	46	32	26	70	73	26	39	20	39	44	91	37	67	43	50	24	21	63	64	267	257	524	333	371	704	
四国	1	1	1	1	3	7	3	2	2	1	1	1	3	1	1	1	0	1	0	4	1	2	1	1	1	1	1	1	1	14	5	19	14	11	25
九州			2	1	0	3	0	0	0	2	1	0	1	1	1	5	0	3	1	0	0	1	0	1	0	1	1	4	12	16	7	2	9		
国外	7	4	0	0	4	0	4	8	2	0	2	0	4	4	10	6	1	0	5	7	5	12	6	12	1	4	6	9	23	34	57	16	50	66	
全国計	47	44	26	50	78	131	65	82	41	60	46	38	119	113	50	51	35	54	70	168	60	97	62	76	33	34	102	110	422	412	834	518	590	1,108	
岡山市	11	10	2	3	14	20	13	13	7	15	8	8	27	18	10	8	6	10	10	44	11	24	12	18	6	3	17	17	82	72	154	87	124	211	
倉敷市	2	2	2	4	9	6	5	3	3	4	2	7	5	2	1	3	8	14	2	3	4	2	0	3	4	7	26	19	45	28	34	62			
津山市	7	7	3	8	7	12	8	11	6	8	4	4	7	12	6	9	4	6	4	10	9	12	6	12	5	4	12	16	42	46	88	62	69	131	
高梁市	2	1	1	3	1	1	2	2	3	3	1	0	2	2	2	4	3	6	1	0	2	2	2	1	1	2	1	2	10	12	22	12	17	29	
新見市			2	0	4	2	2	0	1	1	2	0	1	2		0	1	2	3	3	1	0	0	2	0	2	1	12	9	21	5	6	11		
新庄村			0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1			0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	3	3	6	9	3	1	4	1	1	21
鏡野町	2	1	0	0	1	0	3	4	1	0	0	1	3	0	3	0	0	1	1	1	1	4	1	1	1	1	2	2	7	5	12	9	12	21	
美咲町			0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2			1	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	2	3	5	1	4	5		
吉備中央町			1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1			0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	2	1	3	3	11	
その他	1	5	2	3	7	10	5	5	4	7	3	8	7	14	1	5	3	4	11	4	8	6	5	3	5	3	6	29	21	50	52	43	95		
県内計	23	26	13	20	38	54	40	42	26	38	23	25	53	56	19	31	15	30	30	84	33	53	33	43	19	18	44	52	216	193	409	261	311	572	

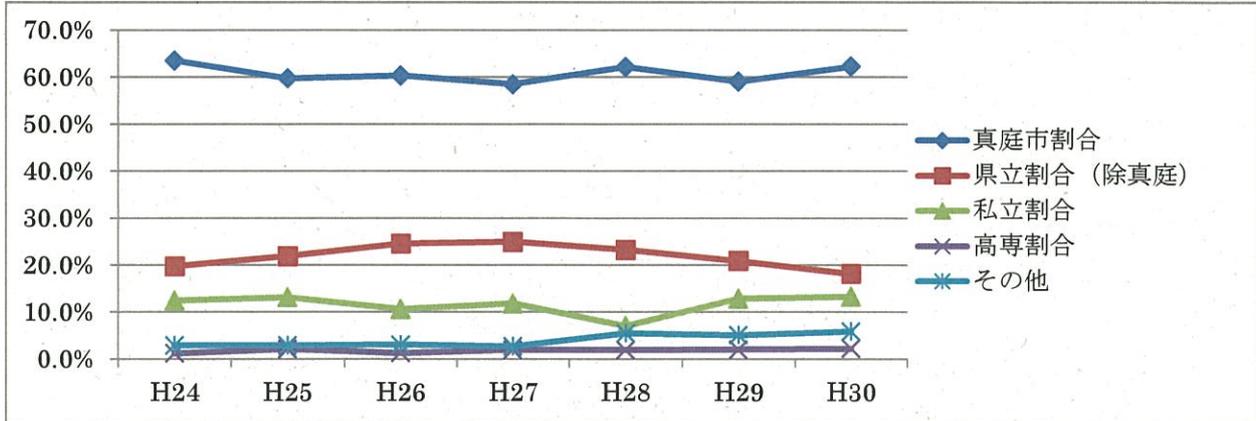
転入者は、全国では中国地方からが524人(内訳は、男267人、女257人、うち県内は、409人、男216人、女193人)で最も多く全体の63%を占め、次いで近畿地方が135人となっている。県内からの転入者は、岡山市が154人で最も多く、次いで津山市が88人となっている。
転出先も中国地方が704人(うち県内572人)で最も多く全体の64%を占め、次いで近畿地方の163人となっている。県内の転出先は、岡山市が211人で最も多く、次いで津山市131人、倉敷市62人となっている。
年代別では、20歳～24歳の男女、25～29歳の女の年代で転出超過が多くなっている。

人口動態の推移



【進路状況割合経年比較】

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
真庭市割合	63.5%	59.8%	60.3%	58.5%	62.2%	59.1%	62.3%
県立割合(除真庭)	19.8%	22.0%	24.6%	25.0%	23.3%	20.9%	18.2%
私立割合	12.5%	13.2%	10.7%	11.8%	7.0%	12.9%	13.3%
高専割合	1.3%	2.2%	1.3%	2.0%	2.0%	2.1%	2.3%
その他	2.9%	2.9%	3.1%	2.7%	5.5%	5.1%	5.9%



【進路希望調査(2次)と実際の進路の経年比較】

高校名	科名	H26 希望	H27 入学	H27 希望	H28 入学	H28 希望	H29 入学	H29 希望	H30 入学
	生徒数	448	448	455	455	435	435	390	390
勝山 (勝山)	普通 120	88	94	93	95	95	100	107	106
	ビジネス 40	30	29	34	36	50	39	39	35
真庭	普通 80	49	48	46	57	34	43	30	36
	生物生産 35	19	24	35	35	23	24	25	23
	食品科学 35	37	31	25	27	25	25	16	15
	看護 40	23	23	15	14	8	8	9	9
勝山(菟山)	普通 40	11	13	20	19	17	18	16	19
	真庭市内 390	257	262	268	283	252	257	242	243
	真庭市率	57.4%	58.5%	58.9%	62.2%	57.9%	59.1%	62.2%	62.3%

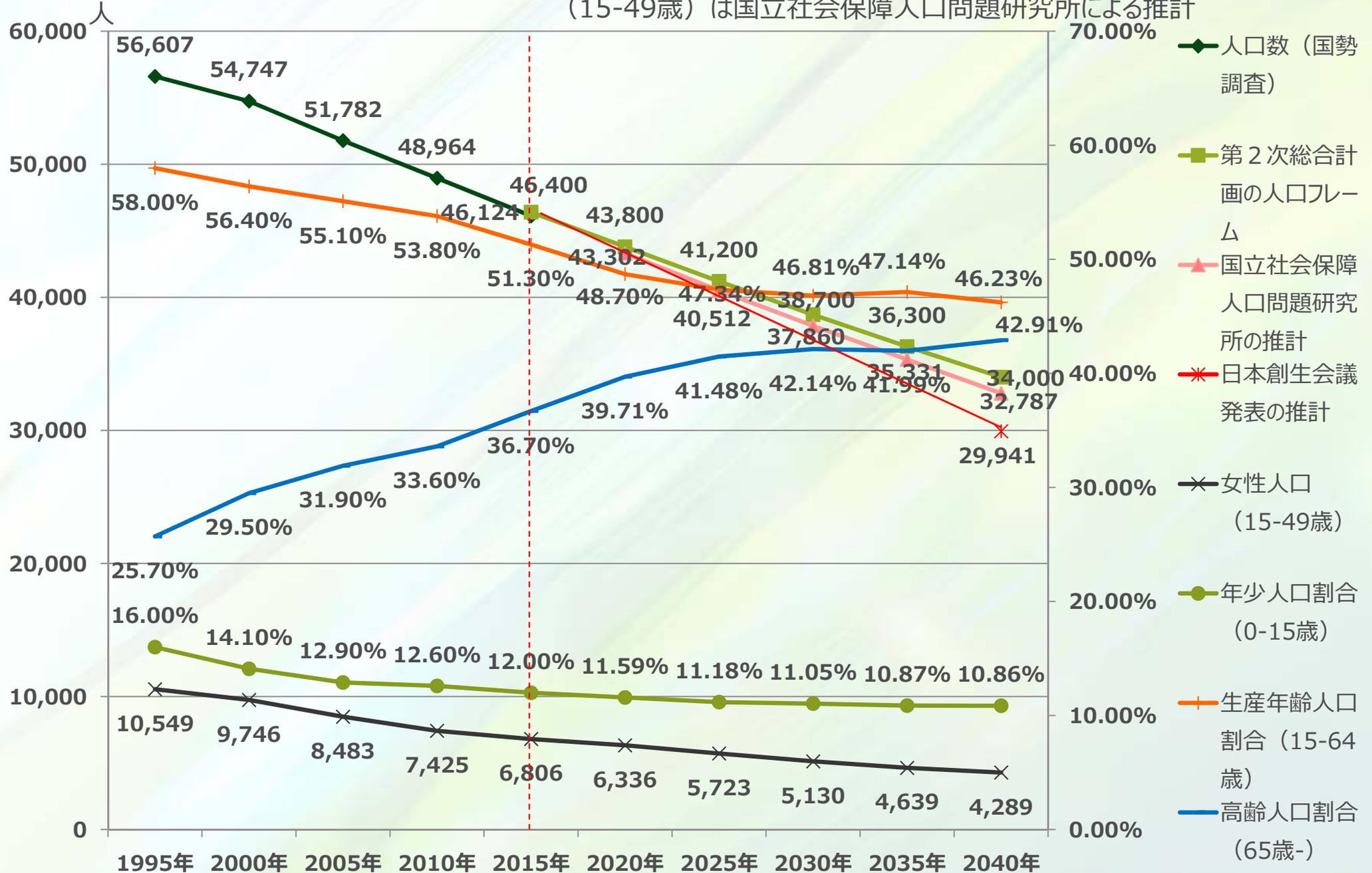
高梁高校:普通科	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	13	9	14	12	10	6	8

高梁高校は高梁市に所在しているが、真庭市の旧北房町地域における学区となっている。

～真庭市の人口～

【人口・高齢化率の推移と予測】

注：2015年までは国勢調査によるもの。以降の各割合及び女性人口（15-49歳）は国立社会保障人口問題研究所による推計



～次世代を担う「ひと」高校生へのアンケート～

【日本への誇りや社会貢献について】

※市内のデータは平成30年3月現在

真庭市内の高校生に対し、アンケートを行った。

住んでいる地域に誇りを持っている人は比較的多いが、将来地域で就職したい、帰ってきたい人が相対的に少ないことがわかった。

項目	とてもそう思う、 そう思う の割合
卒業後は進学したい	75.1%
将来は都会で就職したい（都会への憧れがある）	57.3%
将来は住んでいる市・地域で就職したい	38.9%
将来は住んでいる市・地域に帰ってきたい	58.0%
住んでいる市・地域に誇りを持っている	78.2%
住んでいる市・地域を知っている方だと思う	63.6%
地域の祭りに参加している	77.7%
S D G s について知っている	14.1%

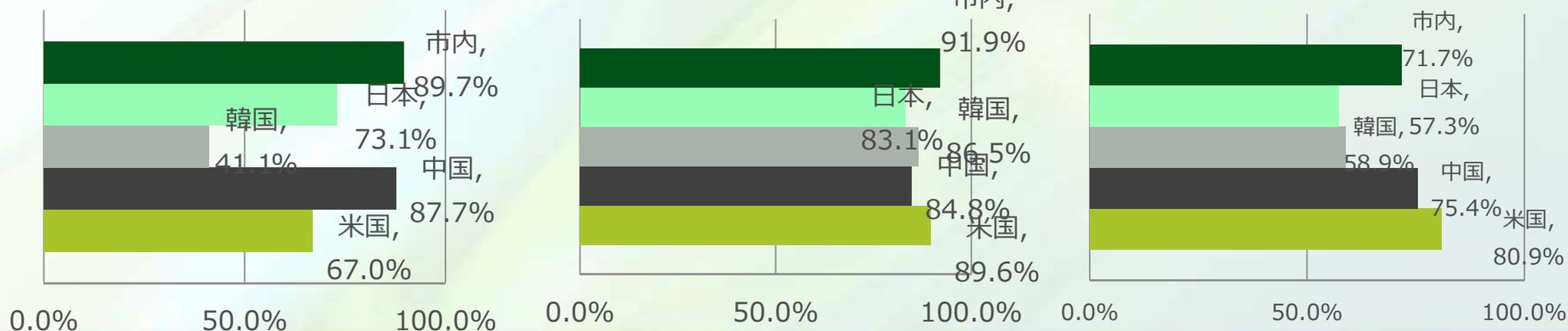
本市の高校生は、日本や他国と比べ、自国に誇りを持っていたり社会に役に立つ生き方をしたいと思っている人が多い。

日本、韓国、中国、米国のデータは日本青少年研究所「高校生の生活と意識に関する調査（2015.7）」から引用

自分の国に誇りを持っている

社会の役に立つ生き方をしたい

将来に対しはっきりした目標をもっている

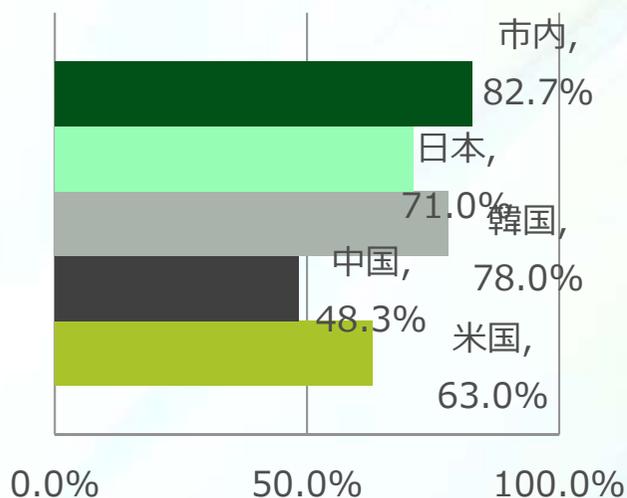


～次世代を担う「ひと」高校生へのアンケート～

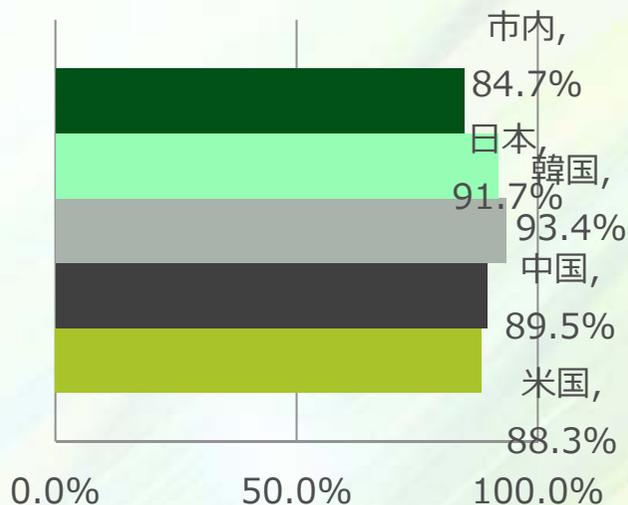
※市内のデータは平成30年3月現在

日本、韓国、中国、米国のデータは日本青少年研究所「高校生の生活と意識に関する調査（2015.7）」から引用

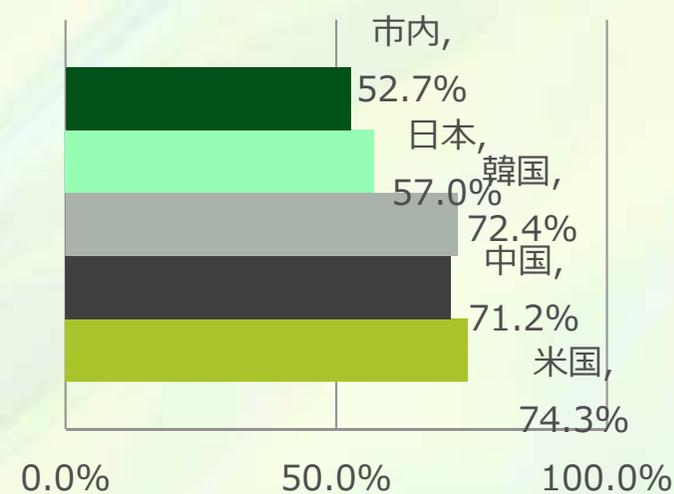
将来に不安を感じている



将来はのんびり暮らしたい



高い地位につきたい



人生の目標に1番影響を与えたのはどれだと思いますか

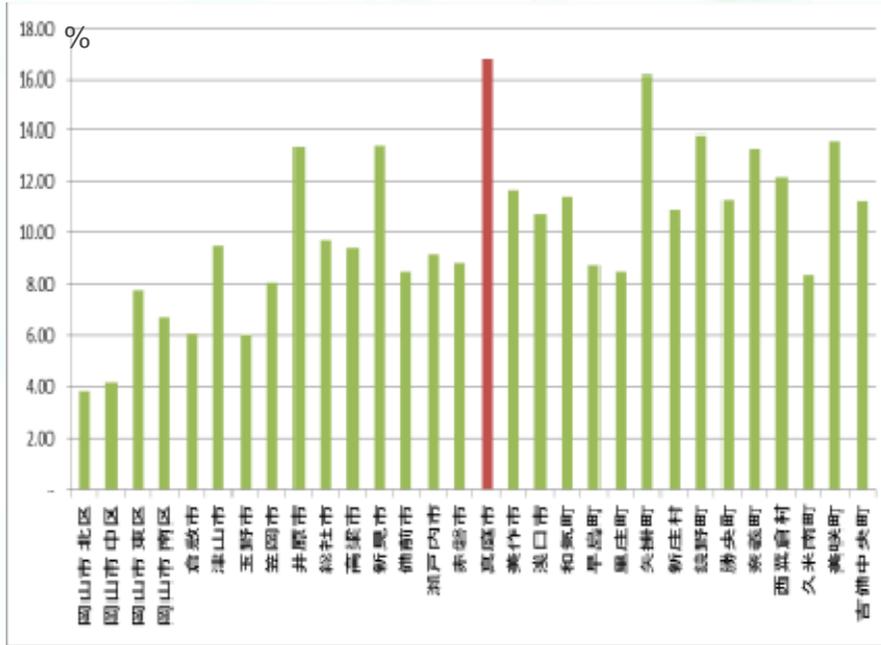


～子育ての状況～

【三世代同居率の県内比較】

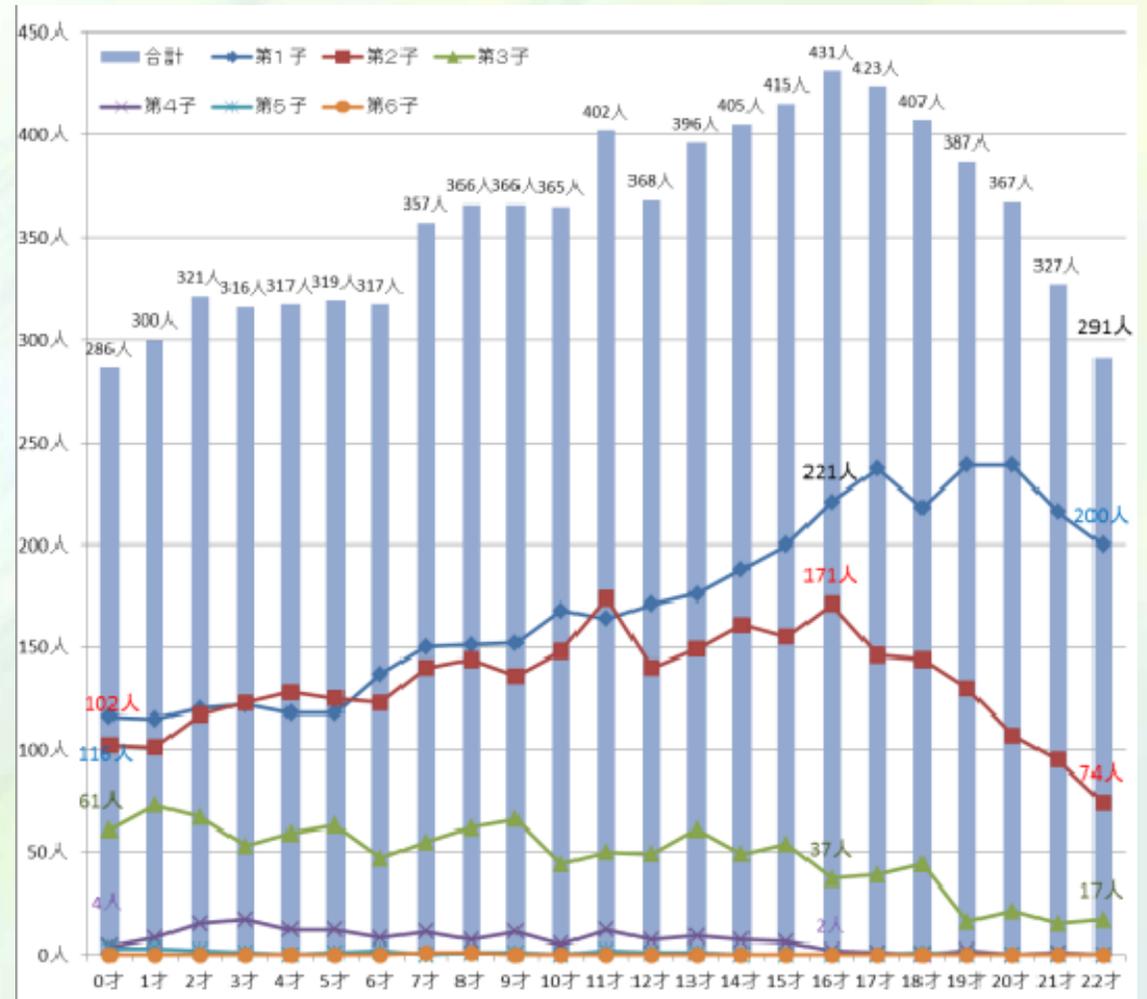
県内で一番高い。

(2015年国勢調査)



【22歳以下のこどもの数の状況(H29.9.1現在)】

第1子、第2子の数は拮抗していたが、直近では第1子の数が第2子の数を下回る状況が生じており、少子化の加速化が懸念されている。



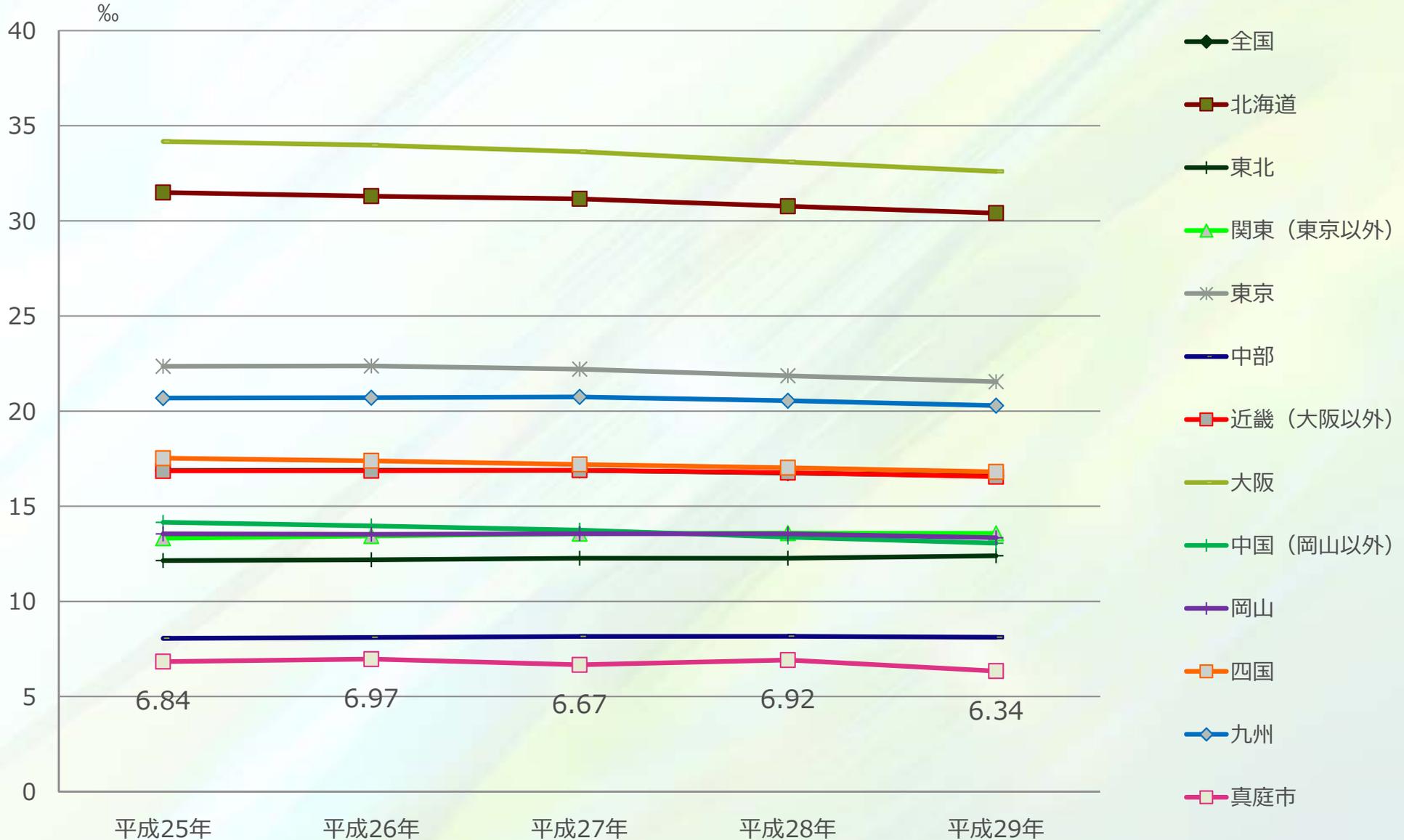
出典：真庭市調べ。22歳以下の子供がいる世帯について、その子が何番目の子であるかを分類したもの

【合計特殊出生率の推移】



【生活保護受給者率の比較】

全国的に見ると大阪が高く、次いで北海道、東京が続いている。



※厚生労働省「被保護者調査」の毎年12月の生活保護受給者数を住民基本台帳人口で除したもの